

摂津市協働のまちづくり推進委員会（第5回会議） <議事要旨>

開催日時	令和8年3月31日（火）10時00分～12時00分
開催場所	摂津市役所 本館2階201会議室
案件	1. 開会 2. 協働と市民公益活動支援の指針（平成24年策定）の取組の実施状況及び推進計画に記載する新たな取組項目について 3. その他
出席者	久委員（委員長）、柳瀬委員（副委員長）、久山委員、寺西委員、高雄委員、吉田委員、武友委員、松田委員、井関委員、末岡委員、北川委員、鈴木委員、中井委員、中田委員
欠席者	松方委員
事務局	生活環境部長 吉田、生活環境部副理事兼自治振興課長 川本、自治振興課自治振興係長 林田、自治振興課市民活動支援係 緒方
オブザーバー	市長公室副理事兼秘書課長 有場、市長公室副理事兼政策推進課長 古賀

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
事務局	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまから、摂津市協働のまちづくり推進委員会の第5回会議を開催いたします。</p> <p>本日は全委員15名中14名の出席により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、久委員長、議事の進行をお願いいたします。</p>
2. 協働と市民公益活動支援の指針（平成24年策定）の取組の実施状況及び推進計画に記載する新たな取組項目について	
委員長	<p>年度末のお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日は、これまでの意見交換を踏まえ、指針に記載された取組の進捗整理と、新たな取組項目について意見交換を行い、今後の推進計画づくりにつなげていきたいと考えています。</p> <p>まず、配布資料について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料1～4の説明)

委員長	<p>確認ですが、資料4の新たな取組項目に加え、資料2の実施状況に記載された内容も、新しいまちづくり推進計画に載せていくという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>一部削除の可能性はありますが、基本的には指針にある項目は計画に載せていく予定です。</p>
委員長	<p>ということは、未実施の項目についても、今後取組を進めるということですね。</p>
事務局	<p>そのとおりです。 また、新たな取組項目の中には、現在すでに実施しているものの、指針には記載がなかった項目もあり、次の計画に盛り込みたいと考えています。</p>
委員長	<p>本日は、資料2と資料4を合わせたものを計画の土台と考え、不足や修正の必要がある点についてご意見をいただきたいと思います。 ご質問でも結構ですので、意見交換を進めたいと思います。</p>
A委員	<p>寄附の税額控除について、取組6のどこに位置付くのか、また制度化に向けた動きがあるのか確認したいです。 また、資料4の「まちづくり協議会(仮)の設立支援」について、既にある千里丘まちづくり協議会が市の想定する協議会に当たるのか伺いたいです。</p>
事務局	<p>寄附制度については、現時点では未実施ですが、制度化する場合は取組6の3つ目の項目に該当すると考えています。市民公益活動支援基金との関係も含め、今後研究が必要です。</p>
A委員	<p>将来的には検討するということですか。</p>
事務局	<p>はい、その方向で考えています。 千里丘まちづくり協議会については、市の制度がまだないため断定できませんが、一般に想定する協議会は自治会、PTA、子ども会、老人クラブなど多様な団体が参画する形です。そのため、現時点では市のイメージとは少し異なるものの、今後の母体になり得る可能性はあると考えています。</p>
事務局	<p>千里丘まちづくり協議会は、既存団体を一定統合した形というより、住民が自主的に地域でやりたいことを実践している緩やかなつながりのある組織と認識しています。寄附を集めながら自主的に活動している点で、協働の実践例の一つと考えていますが、既存組織との関係性は一般的なモデルとは異なるため、今後、位置付けを検討していく必要があると考えています。</p>

A委員	既存の団体とうまく連携できたらよいですね。難しいですか。
事務局	活動の自主性が基本となるため、行政が強制的に枠組みを決めることは難しいと考えています。どういう仕組みがよいかは、皆さまのご意見を伺いながら検討していくべきものと考えています。
委員長	<p>千里丘まちづくり協議会は、当初は地域構想づくりの大きな構想から始まりましたが、既存団体との関係を踏まえ、できる人ができることを行う緩やかな組織に切り替えた経緯があります。既存団体との関係や地域の歴史的経緯もあるため、統合や連携は慎重に進める必要があります。</p> <p>また、寄附制度については、ふるさと納税など既存制度を活用すれば比較的早く実現できる可能性もあると考えています。</p>
B委員	資料4の「まちづくり協議会」の説明を見ると、地域団体をベースに進めるようにも読めますが、今の説明では前提が少し違うように感じました。どういう要件を満たせば「まちづくり協議会」と言えるのか、誰がどのように判断するのか、基本的な整理が必要だと思います。
委員長	<p>まちづくり協議会は、地域の団体が縦割りで動いている状況を整理し、担い手不足に対応しながら、より動きやすい地域運営の形をつくるのが目的です。</p> <p>組織を一旦作り直すのか、既存団体が緩やかに連携するのかは地域の状況によるため、地域と相談しながら時間をかけて考えていくことになると思います。</p>
B委員	市がまちづくり協議会として認定するのは、補助金などの対象にするためという理解でよいでしょうか。地域で合意形成したうえで市と協議し、市が認めるという流れになるのでしょうか。
委員長	<p>そこには二つの側面があります。一つは補助金や交付金の対象として市が認定する行政的な側面、もう一つは地域内で一本化していくための合意形成の側面です。</p> <p>後者は市の認定の有無にかかわらず必要であり、地域内で複数の組織が並立しないよう、慎重に進める必要があります。</p> <p>先行自治体でも対立を調整しながら数年かけて設立に至った例があり、摂津市でも時間をかけて進める必要があると考えています。</p>
B委員	地域団体がある中で、まちづくり協議会が別にあってもよいということですね。強制的な団体構成でなくても、地域内で合意が取れていればよいという理解でよいでしょうか。
C委員	地域にはいろいろな団体がありますが、連携が取れておらず、同じ人が複数の役

	<p>割を担っている状況があります。それを一度集めて、まちづくり協議会という形に整理していく必要があると思います。</p>
B委員	<p>元の団体を解体しなくてもいいのですか。</p>
C委員	<p>解体になるのではないですか。</p>
委員長	<p>解体になることはほとんどありません。</p> <p>例えば、枚方市の事例では、自治会の地域部会や福祉部会、子育て部会などを設け、既存団体を活かしながらつなぐ形で組織しています。</p>
副委員長	<p>大阪市でも、既存の自治会やNPO、福祉団体などを一構成団体として協議会をつくっており、個人参加も可能です。</p> <p>既存団体は解体せず、新たな協議体を上に乗せる形が一般的です。</p>
B委員	<p>既存の枠組みを拡張し、今まで参加していなかったNPOや地域サークルなども入ってこられるようなイメージですね。</p>
副委員長	<p>そのような理解でよいと思います。</p> <p>ただ、すこやかネットのような仕組みとは少し違い、もう少し大きな枠組みになると思います。</p>
D委員	<p>組織の代表が出るというより、「地域で何かやりたい」という個人が集まる形が理想だと思います。組織を前面に出しすぎると、充て職や義務的な参加になり、機能しにくくなります。</p> <p>地域でやりたいことを持つ人が中心となり、必要に応じて組織とつながるという発想が大事だと思います。</p>
B委員	<p>つまり、組織はそのまま残りつつ、協議会では個人として地域のために関わるイメージですね。</p>
D委員	<p>そのとおりです。</p> <p>所属団体の活動と一致するならその意見も活かれますし、そこから更に活動を広げていけるのが魅力だと思います。</p>
B委員	<p>充て職のような運営は避けた方がよいということですね。</p>
D委員	<p>そうです。強制ではなく、楽しく前向きに関われることが大事です。</p> <p>また、自由な参加を前提としつつ、交付金のような制度を使うなら、資金管理や</p>

	<p>効果検証を担う体制も必要になります。そこは大きなハードルになると思います。</p>
委員長	<p>まちづくり協議会には唯一の正解はなく、地域ごとに納得できる形を時間をかけてつくる必要があります。校区ごとの事情に応じて、慎重に議論を進めていければと思います。</p>
E委員	<p>資料1にある「中間支援組織」とは、具体的に何を指しているのですか。</p>
事務局	<p>市民活動支援センターのように、市民、事業者、団体の間に立って、相談対応や情報提供、団体同士のマッチングなどを行う組織を指します。摂津市には、現在そのような市民活動全般を支える中間支援組織はありません。</p>
E委員	<p>つまり、摂津市にはないということですね。</p>
事務局	<p>市民活動を横断的に支援する組織としては、今はありません。 ただし、国際交流や福祉など分野別に中間支援的な機能を持つ組織はあります。自治振興課の所管として、分野横断で団体運営を支える組織がないという意味です。</p>
委員長	<p>中間支援とは、活動する人や団体の間に立ち、つなぎ、応援する役割です。 分野別の中間支援機能は市内にもありますが、市民公益活動団体全体を対象としたものが未整備ということですね。 また、連合会も本来は中間支援組織ですが、上部団体のように見られがちのため、本来のつなぐ役割に立ち返る必要があると思います。</p>
D委員	<p>何かしたいときに、どこに聞けばすぐ分かるかが明確になっている状態、ということですね。</p>
委員長	<p>そうです。 商工会も事業者を支える中間支援団体の一例であり、理想的な形の一つだと思います。</p>
E委員	<p>資料2の実施状況について、実施したことは分かりますが、成果は把握されているのですか。</p>
事務局	<p>これまでは指針という形で進めてきたため、成果の把握や評価が十分ではありませんでした。その点を踏まえ、今後は計画へ移行したいと考えています。</p>
委員長	<p>ご指摘は、「実施した」という報告だけでなく、「成果があったのか」という点が</p>

	示されていないということですね。
E委員	そのとおりです。 何人集まり、どう発展したのかまで把握されているのかを聞いています。
副委員長	成果は単に参加人数や実施実績だけではなく、活動を通じて見えてきた課題も含めて捉えるべきだと思います。 また、内容の深い項目については、別途検討の場を設けることも必要ではないかと思っています。
委員長	資料の中でも、特に3、5、6は「検討」となっており、すぐ実施する段階ではなく、今後深めていく項目と理解してよいかということですね。
E委員	民間では、計画、実行、検証、改善というPDCAで考えます。 今の資料は実施までで止まっており、検証と改善が不足しているように見えます。その点が見える形になると、こちらも意見を出しやすいです。
委員長	次回以降の推進計画では、担当課、目標、評価の仕組みを明確にし、毎年進捗確認できる形にしていく必要があります。現行指針ではそこまで作り込めておらず、資料2が中途半端に見えるのはそのためです。 今後は、各課の協働の取組を把握し、この委員会で評価できる体制にしていきたいと思います。
F委員	外国人住民が増えているのに、資料にはその視点が入っていません。外国人市民が地域参加しやすいよう、多文化共生の観点を計画に入れてほしいと思います。
委員長	市民を一くくりにせず、外国人市民や若者など属性に応じたアプローチを計画に盛り込む必要があると私も思っています。 特に若者については、将来の担い手育成の観点からも重要だと考えています。
D委員	前回紹介した見守りアプリについて、庁内で共有・検討が進んでいるのか確認したいです。防災や福祉、多文化共生にも活用できるツールだと思っています。
事務局	教育委員会から特段の情報提供は受けておりません。
D委員	前回、こちらから各部署に確認してほしいとお願いしたはずですが。 協働の基本は有効な情報を共有することだと思います。 このアプリは、防災や外国人対応、若者との情報共有にも有効であり、市が契約しないと地域では使えないと聞いています。そのため、市として把握し、導入する

	<p>のかしないのか、検討結果を示してほしいという趣旨です。</p>
委員長	<p>ご指摘は二点あると思います。一つは、市役所内での協働や情報共有が十分でないこと。もう一つは、新しい情報ツールをどう協働に活かすかという観点を、次の計画に盛り込む必要があるということだと思います。</p>
事務局	<p>現在は、指針から実効性のある計画へ移行する途中段階であり、PDCA も取り込んでいこうとしているところです。</p> <p>できていない点をご指摘いただくことも重要ですが、今後どう地域をつくっていくかという議論も進めていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>今回は、教育委員会にどのような道具か聞きに行ってほしいという非常に基本的な確認をお願いしていたということですね。</p>
D委員	<p>そうです。</p> <p>市民側も「行政任せ」ではなく、必要な提案をしながら一緒に進めようとしています。そのうえで、市が契約主体にならないと使えないツールであれば、市として精査し、導入するかどうか判断を示してほしいということです。</p>
事務局	<p>ご提案は、個人利用ではなく、市全体の組織的な基盤として活用できないかという趣旨だと理解しました。</p>
D委員	<p>お願いしているのは、まず市としてその内容を把握し、検討結果を示してほしいということです。</p> <p>庁内で情報が一本化されていない点も課題だと思っています。</p>
事務局	<p>そうした形での対応を希望されるということですね。</p>
D委員	<p>そのとおりです。</p> <p>市民の横のつながりを支えるツールになり得るかどうか、市の見解を明確に示してほしいということです。</p>
委員長	<p>この件は会議後に改めて情報共有の整理が必要だと思います。</p> <p>言った言わないにならないよう、協働の基本である情報共有をしっかりと進めていただければと思います。</p>
G委員	<p>推進計画の取組項目は、個別に並べるだけでなく、人材、寄附、地域づくり、外国人支援などを横断的につなぐ視点が必要だと思います。</p> <p>また、実施状況も「行政が何をしたか」だけでなく、「市民がどう動き、何が生</p>

	<p>まれたか」を拾い上げる仕組みにしていく必要があると思います。</p>
委員長	<p>その点では、自治振興課が庁内の情報をつなぎ、地域との橋渡しをするプラットフォーム役を果たすことが重要だと思います。取組ごとの縦割りを超え、横串を通す体制づくりが必要だと感じました。</p>
H委員	<p>実際には、環境フェスティバルなど長年続く協働の取組もありますが、資料には十分反映されていません。福祉分野や外郭団体も含め、横断的に把握し、面としての協働を捉える必要があると思います。</p>
委員長	<p>まずは各部署が取り組んでいる協働を網羅的に整理する必要があります。一度整理できれば、継続して把握しやすくなりますし、計画書自体も関連性が見える構成に工夫できると思います。</p>
I委員	<p>確認ですが、この委員会は推進計画を作っていくための場という認識でよいですか。</p>
委員長	<p>はい。今年度と来年度の大きな柱は推進計画を作ることです。</p>
I委員	<p>資料2の既存の取組と資料4の新たな取組を見ると、未実施も多く、新規項目も多いので、優先順位や時系列を持った計画が必要だと思います。</p> <p>その中で、私たち委員は、取組同士のつながりや役割分担について意見を出していくことになるのでしょうか。</p>
委員長	<p>推進計画には、担当課や実施時期も入ってくると思います。</p> <p>また、市民側の中間支援組織が機能すれば、市役所の負担を減らしながら進められる部分も増えると思います。</p> <p>次回以降、誰が何を担えるかも含めて議論していければと思います。</p>
B委員	<p>資料4の地域コミュニティ活動支援を見ると、既存施策の整理なのか、新たな支援の上積みなのかが分かりにくいです。</p> <p>自治会等への財政的補助は、今ある制度を記載しているだけなのか、それとも新たに拡充するイメージなのか確認したいです。</p>
事務局	<p>ここは、現在実施している支援を計画に盛り込むために記載しています。</p> <p>平成24年の指針では地域コミュニティへの記載が少なかったため、今後の計画では漏れている部分を補っていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>ここには、既にやっているが未記載だったものと、これから新たに立ち上げるも</p>

<p>D委員</p> <p>B委員</p> <p>D委員</p> <p>委員長</p> <p>J委員</p> <p>委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p>	<p>の2種類が混在しています。</p> <p>次回に向けて、その区別が分かるよう整理して示していただいた方がよいと思います。</p> <p>現在、摂津市では校区連合自治会への支援はありますが、単一自治会への柔軟な支援はありません。</p> <p>茨木市では、校区のまちづくり協議会が交付金の中で必要と判断すれば、単一自治会の活動も支援できると聞きました。</p> <p>地域が必要性を考え、柔軟に使える交付金の仕組みは非常に参考になると思います。</p> <p>今の補助金は用途が限定されているもので、交付金のように自由度の高い仕組みに変えると、より使いやすくなるということでしょうか。</p> <p>そうだと思います。</p> <p>ただし、交付金化するには、市民側にも受け皿としての責任と体制が必要です。地域全体で必要性を考え、他団体とも協力していく姿勢が求められると思います。</p> <p>市民活動団体と地域活動団体が別々に動くのではなく、地域のために資金や人材を柔軟に使える仕組みができれば、双方にとってプラスになると思います。そのような仕掛けを検討していくことも重要だと感じます。</p> <p>資料4の市民活動支援センターの設置検討や、資料2の別府コミュニティセンター開設を見て、既存のコミュニティプラザをどう活用するのかが気になりました。もともと市民活動の拠点だったはずなので、その位置付けも資料に書いてほしかったです。</p> <p>そこは一応ターゲットにしているという理解でよいですね。</p> <p>はい。コミュニティプラザは、開設当初は市民活動の拠点という位置付けでしたが、現在は貸館中心になっています。</p> <p>原点に戻り、市民活動の拠点として再び位置付けたいと考えており、資料4の5はコミュニティプラザを想定しています。</p> <p>本日は多くのご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、事務局には次回に向けて整理をお願いしたいと思います。</p>
<p>3. その他</p>	

委員長	最後に、その他について事務局からお願いします。
事務局	次回の会議は5月後半を予定しております。日程が決まりましたらご連絡いたします。 以上です。
委員長	それでは、これをもちまして、摂津市協働のまちづくり推進委員会の第5回会議を閉会いたします。 ありがとうございました。